

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 ヨータイ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 597-0093 大阪府貝塚市二色中町 8 - 1	
本票作成	部署名：日生工場 製造部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	耐火れんがの製造 平成26年度生産量 89.09千t (県内工場) 従業員数378名 (県内)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日生工場		備前市日生町日生 2 6 0 1	
	②	吉永工場		備前市吉永町南方 1 2 5 0	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	41,288 t CO ₂			40,049 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	日生工場		29,396 t CO ₂					
	②	吉永工場		11,892 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 日生工場、吉永工場の生産量の合計	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		463 t CO ₂ / (千 t)	450 t CO ₂ / (千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

昨今の経済情勢と県外工場の生産状況などから、県外工場を含む工場間での生産品目の移管、集約などが考えられ、県内工場の生産量の変化の予想が困難なため原単位基準を選択した。

【目標削減率達成のための推進体制】

各工場に省エネ推進担当者を設置し、その統括としてエンジニアリング事業部長(取締役)をトップに、プラントグループ次長を取りまとめ役として省エネを推進する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
日生工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日生工場の温室効果ガス排出の主な設備であるトンネルキルン2基を平成11年と14年に更新。CO2削減量約7,300 t/年。 ・ ボイラー2基を平成24年に省エネタイプに更新。CO2削減量約652 t/年。 ・ トンネルキルンの排熱熱風発生炉への利用。CO2削減量約62 t/年。
吉永工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成12年にトンネルキルンを2基から1基に集約した。CO2削減量約1,500 t/年。 ・ インバーター式コンプレッサーへの更新。CO2削減量約15 t/年。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
日生工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量が少ない不定形製品の生産比率の向上 ・ C F C 乾燥炉の放熱防止工事(検討中) ・ 省エネタイプ照明への変更
吉永工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量が少ない不定形・不焼成製品の生産比率の向上 ・ Y 2 T K バーナー空気比管理による燃料の削減(検討中) ・ ドライヤー室、天井の断熱(検討中)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

変更理由について：平成26年度の原単位当たりのCO₂排出量に間違いがありました(誤：448tCO₂/千t → 正：463tCO₂/千t)。昨年提出の温室効果ガス削減計画は誤っている平成26年度の原単位当たりのCO₂排出量を基準として目標年度での削減量を設定しているため、正しい値を基準としたものに変更しました。

エンジニアリング事業部、技術研究所、岡山支社は日生工場内にあるため日生工場に含んでいます。